

「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」について

1. 名 称

「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」 “Churches and Christian Sites in Nagasaki”

2. 所在地

長崎県 長崎市・佐世保市・平戸市・五島市・南島原市・小値賀町・新上五島町
熊本県 天草市

3. 暫定一覧表記載年

平成 19 (2007) 年

4. 概 要

「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」は、キリスト教信仰が、大航海時代に西欧から日本に伝わり、日本古来の文化との交流を通じて民衆に深く浸透し、その結果、禁教下の時期にも密かに継承され、独特の宗教・文化的伝統を形成し、解禁後には、それまでの苦難を乗り越えて、根強い信仰の力となって発展していくという、4 世紀にわたる伝播と普及・禁教下の継承・解禁後の信仰の復帰の過程をあらわす城跡・歴史的景観・教会建築のアンサンブルである。

「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の顕著な普遍的価値

評価基準(ii) 4 世紀にわたる、キリスト教を通じた日本と西欧の価値観の交流を物語る遺産。

- ・ 伝播と普及・禁教下の継承・解禁後の復帰という長い過程を有する交流
- ・ 交流の結果形成された独特の集落景観や、独特かつ多様なスタイルの教会群

評価基準(iii) 地域固有の生活環境、地理的環境及び民俗的慣習を背景とした独特な宗教・文化的伝統の形成を物語る希少な物証

- ・ 多様な信仰が共存する独特の宗教・文化的伝統を示す城跡、歴史的景観、教会建築

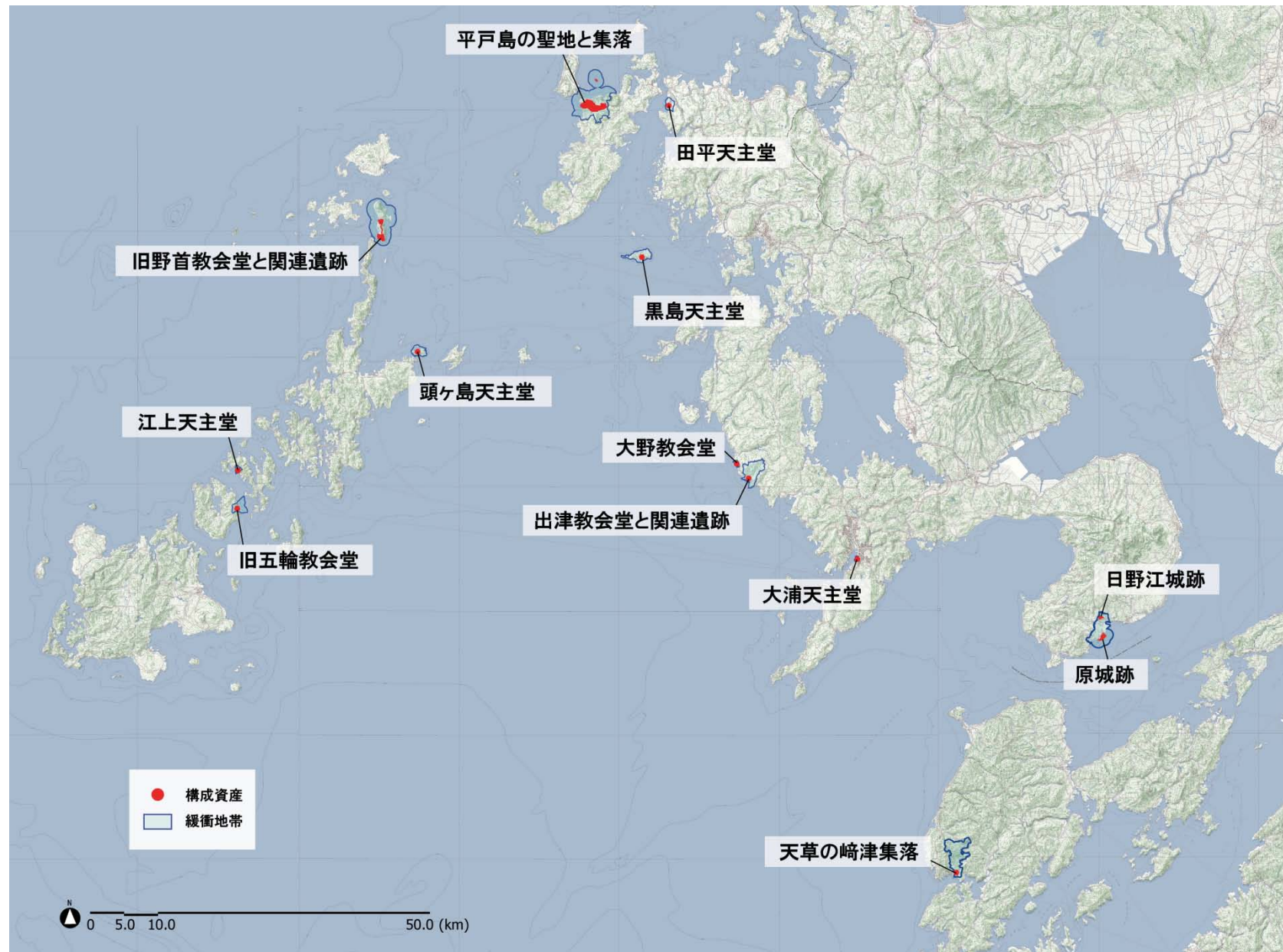
評価基準(vi) 4 世紀にわたる過程を経た「東西の出会い」、信仰の継続という顕著な出来事と直接関連する遺産

- ・ 大航海時代における、西欧と日本の出会い。これを象徴するキリスト教の伝播と普及、禁教を経た定着のプロセス。

構成資産の一覧表

No.	構成資産の名称	国の 保護措置状況	所在地
1	ひのえじょうあと 日野江城跡	史跡	長崎県南島原市
2	はらじょうあと 原城跡	史跡	長崎県南島原市
3	ひらどじま せいち しゅうらく 平戸島の聖地と集落	重要文化的景観	長崎県平戸市
4	あまくさ さきつ しゅうらく 天草の崎津集落	重要文化的景観	熊本県天草市
5	し つきょうかいどう かんれんしせつ 出津教会堂と関連施設	重要文化財 重要文化的景観	長崎県長崎市
6	おおうら てんしゅどう かんれんしせつ 大浦天主堂と関連施設	国宝・重要文化財 史跡	長崎県長崎市
7	きゅうごりん きょうかいどう 旧五輪教会堂	重要文化財 重要文化的景観	長崎県五島市
8	きゅうのくび きょうかいどう かんれんいせき 旧野首教会堂と関連遺跡	重要文化的景観	長崎県小値賀町
9	くろしま てんしゅどう 黒島天主堂	重要文化財 重要文化的景観	長崎県佐世保市
10	かしらがしまてんしゅどう 頭ヶ島天主堂	重要文化財 重要文化的景観	長崎県新上五島町
11	おおの きょうかいどう 大野教会堂	重要文化財	長崎県長崎市
12	たひら てんしゅどう 田平天主堂	重要文化財	長崎県平戸市
13	えがみ てんしゅどう 江上天主堂	重要文化財	長崎県五島市

構成資産の全体図



「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」構成資産

キリスト教の伝播と普及



(左)原城跡(長崎県南島原市)
(右)日野江城跡(長崎県南島原市)

禁教下の継承



(左)平戸島の聖地と集落(長崎県平戸市)
(上左)天草の崎津集落(熊本県天草市)
(上中)出津教会堂と関連遺跡(長崎県長崎市)
(上右)旧野首教会堂と関連遺跡(長崎県小値賀町)

解禁後の復帰



(上段左から)大浦天主堂(長崎県長崎市)、頭ヶ島天主堂(長崎県新上五島町)、田平天主堂(長崎県平戸市)
(下段左から)大野教会堂(長崎県長崎市)、江上天主堂(長崎県五島市)、旧五輪教会堂(長崎県五島市)、
旧野首教会堂と関連遺跡(長崎県小値賀町・再掲)、黒島天主堂(長崎県佐世保市)